

かわさきの 上下水道

NO.40

令和2年5月発行

川崎市上下水道局
サービス推進部サービス推進課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
番04号 200-3097 FAX 044-200-3996

貯水状況 (R2.5.17現在)

相模湖	86%
津久井湖	94%
丹沢湖	90%
宮ヶ瀬湖	82%
4湖合計貯水率	86%

目次

- ▶ 川崎の水はどこからくるの? (A) P1
- ▶ 持続可能な開発目標(SDGs)と上下水道事業…………… (B) P2
- ▶ 令和2年度水道事業・下水道事業予算…………… (C) P3
- ▶ 下水道豆知識～設備編⑤～ (D) P3
- ▶ 令和元年度水道水質検査結果 (E) P4
- ▶ イベントの開催中止について (F) P4
- ▶ 水道料金等の支払い猶予について…………… (G) P4
- ▶ プレゼントクイズ P4
- ▶ お問い合わせ P4

広報紙「かわさきの上下水道」は、年4回(5、8、12、3月)発行しています。次回の発行は、8月下旬の予定です。



川崎の水はどこからくるの?

蛇口をひねると出てくる水道水、日本に暮らす私たちにとっては当たり前の光景ですが、その水がどこから来ているか知っていますか? 今号では、川崎市の水源のご紹介と、水源からみなさんのご家庭までどのように水が流れてきているのかお伝えします。

1 川崎の水源は4つの湖

川崎市は、神奈川県にある4つの湖(相模湖、津久井湖、丹沢湖、宮ヶ瀬湖)が水源となっています。一番新しくできた宮ヶ瀬湖に貯められる水の量は、ほかの3つの湖を合わせた量よりも多く、約1億8千万立方メートル(※1立方メートル=1000リットル)もあります。

多摩川の水は、工場などで使う工業用水の水源で、飲み水の水源ではないんだ。

2 湖の水を水道水に

湖に貯められていた水は、導水ずい道というトンネルに取り入れられ、川崎市まで流れてきます。導水ずい道は、多摩区にある長沢浄水場につながっています。長沢浄水場に流れ着いた水は、浄水場の中できれいにされておいしい水道水になります。

導水ずい道は、地下を通る大きなトンネルで、高さ約2.5メートルもあるの。

3 水の量を調整してご家庭へ

浄水場で作られた水道水は、配水池や配水塔に一時的に貯められます。水道水は時間帯によって使われる量が違うので、配水池や配水塔で配る水の量をコントロールしながら、皆様のご家庭にお届けしています。ちなみに、配水池は全部で7か所、配水塔は川崎市北西部を中心に5か所あります。

宮前区にある鷺沼配水池には、10万人が5日間使えるくらいの飲み水が貯められているよ。



地球のことも考えます/
自然流下による水道システム
川崎市では、地形の高低差を利用して水を流下させる「自然流下方式」を採用しています。相模湖(標高167m)→長沢浄水場(標高83.5m)→鷺沼配水池(標高60m)というように、標高の高い場所から低い場所へ水を送ることで、配水ポンプの稼働に必要な電力の消費を抑制しています。

もっと詳しく知りたい人は
上下水道局の施設や水道・下水道の仕組みは上下水道局のウェブサイトでも公開しています。おきま向けのページもありますので、ぜひご覧ください。
川崎市上下水道局 こどものページ